

「自然エネルギー立県とくしま推進戦略（案）」について

1 趣 旨

「自然エネルギーの宝庫」である徳島県では、平成24年3月に「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を策定し、太陽光発電をはじめ自然エネルギーの導入を積極的に推進してきた。

その後、「接続保留問題の発生」や「電力システム改革の進展」、「固定価格買取制度の見直し」に加え、国が「エネルギーミックス」において、2030年の自然エネルギー比率の目標「22～24%」を示すなど、自然エネルギーを取り巻く情勢は大きな変革の時を迎えている。

そこで、「自然エネルギー立県とくしま推進戦略」を全面的に改定し、太陽光はもとより、風力や小水力など、多様な自然エネルギーの導入や、究極のクリーンエネルギー「水素」の普及を図り、地球温暖化対策に積極的に取り組む。

2 概 要

- (1) 期間 2015年度（平成27年度）～2018年度（平成30年度）
- (2) 目標 自然エネルギーによる電力自給率
2020年（平成32年）：25%
2030年（平成42年）：37%
- (3) 新たに4つの視点（先進地域づくり、元気まちづくり、安心社会づくり、未来技術づくり）から「戦略プロジェクト」を再構築。
- (4) ロードマップを策定し、各プロジェクトについて進捗管理・評価を行い、「進化する実行計画」として必要に応じて見直しを実施。